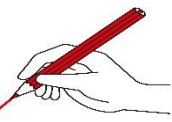


# Move Mountains

5年生通信

1月16日88号



## ○コンビニ店長バーチャル体験

社会科では、「情報を活かす産業」の学習です。教科書にもキャッシュレス決済やポイントカードを使う店側のメリット、病院であればオンライン診療やおくすり手帳のデジタル化など、最新情報が盛り込まれています。

ただ便利になっているだけでなく、過疎地や少子高齢化社会に対応する内容まで幅広く学習します。

今日は、コンビニの店長になったつもりで、お弁当の発注を考えてみます。まず、コンビニの経営をするにあたって、どんな情報が必要か考えました。

季節や、天気によって発注する物は大きく変わりますね。ポイントカードを使って、ビッグデータ解析をすることもあるでしょう。近くの施設等のイベント情報も必要でしょう。立地によっても変わってきます。



今回は、お弁当の発注をするとして、特に**天気**にフォーカスを当てて考えてみます。以下の条件を前提とします。

- ・夏 ・海水浴場の近く ・明日は休日
- ・平日に150個売れる ・350円で仕入れ、500円で販売する
- ・明日の降水確率は30%

さて、

A：150個    B：300個    C：600個

どれかを選んでください。

翌日の天気は…サイコロを振って    偶数…晴れ    奇数：雨    だとします。

晴れだと 300 個、雨だと 120 個売れたとします。

600 個仕入れて、雨だとその時点で **15 万円の赤字**になります。

300 個仕入れてラッキー♪ではなく、ここからもそれぞれの店舗で計算をしていきます。

- ① 売上げの計算
- ② 粗利率の計算
- ③ ロイヤリティを抜く
- ④ そこからさらに人件費・光熱費・廃棄料が…

と、計算を重ねていきます。

全然お金が残らないことを知ります。

だから、くじ引きを売ったり、レジの横で温かいものを売ったり、セットで買うとお得になるようにしたり工夫をしています。

発注は適当ではだめで、**情報をきちんと活用する**必要があることが身に染みて分かったようです。



すこし話が逸れますが、窃盗することはどれだけ店の損害を生むかについても考えました。今回の例では、お弁当一つあたりで 150 円の粗利益です。一つ盗まれたとすると、取り返すには 4 個売らなければなりません。

実際には、20 個程度で補填になるようです。

「1 つくらいなら」の甘い気持ちが店を潰すことになりかねません。

## 感想

- ・発注などは適当にせず、情報を使うことがわかった。
- ・仕入れ値以外は、店の利益かと思ったけど、意外と払うお金が他にも多かった。
- ・一つの物を買うのも、たくさんの情報を使っていることが分かりました。
- ・思い込みで発注すると、大変なことになるから、ちゃんと情報を使わないといけないことが分かった。
- ・窃盗すると、お店へのダメージが大きいことがわかった。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

